



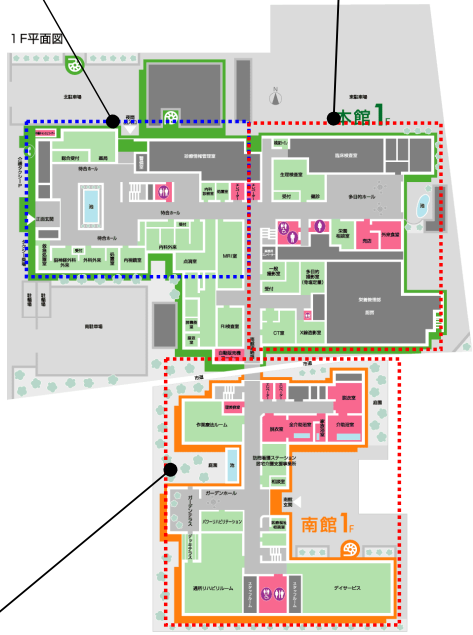
## 施設概要

構造・規模	敷地面積	8,598.84m <sup>2</sup> (2,601 坪)
	建築面積	5,173.64m <sup>2</sup> (1,563 坪)、建ぺい率 60.17%
	建築延べ面積	17,073.16m <sup>2</sup> 、容積率 198.55%
		本館: 5,112.65m <sup>2</sup> 地上4階(築8年)
		旧本館: 7,624.80m <sup>2</sup> 地上8階(築41年)
南館: 4,090.49m <sup>2</sup> 地上3階(築12年)		
他	: 245.22m <sup>2</sup> 建築・施工 藤木工務店	
構造	鉄筋コンクリート造	
病床数	5病棟 259床 ・一般 50床(内、亜急性病床 4床) ・障害者施設等 51床 ・療養(2病棟 56床、54床) ・回復期リハ 48床	
透析設備	コンソール(透析装置)、透析液供給装置、透析用監視装置 透析用剤溶解装置、逆浸透精製水製造システム	
病室の広さ	本館	・個室 (23室) 19.8~11.6m <sup>2</sup> ・2人室 (5室) 25.2m <sup>2</sup> = 12.6m <sup>2</sup> /人 ・4人室 (31室) 34m <sup>2</sup> = 8.5m <sup>2</sup> /人
	南館	・特室 (1室) 24.1m <sup>2</sup> ・個室 (7室) 19.6m <sup>2</sup> ・2人室 (1室) 19.6m <sup>2</sup> = 9.8m <sup>2</sup> /人 ・4人室 (23室) 32m <sup>2</sup> = 8m <sup>2</sup> /人
廊下幅	本館	片側 1.8m ・ 中央 2.7m
	旧本館	片側 1.8m
	南館	片側 1.8m ・ 中央 2.7m

電気設備	受電	5,600V
	契約電力	本館580kW 南館179W、デマンド管理
	受電系統	常用・予備2系統受電
		特徴: 常用と予備の2回線で受電、事故が発生しても対応
	非常用発電設備	透析センター 150kW、本館200kW
	厨房設備	オール電化(平成15年6月より)
	冷暖房システム	高効率ヒートポンプビルマルチ用エアコン (ガス焚吸収式冷温水機の42%のエネルギー消費)
	照明設備・器具の特徴	キャノピースイッチによる個別制御、反射板の利用、 省エネ蛍光灯を全面使用、採光ブラインド採用検討、白熱電灯のすべてをLED化
	ガス・灯油	天然ガス(臨床検査・透析センター・厨房・ボイラー室) 灯油(南館の風呂用)
	太陽熱温水システム	集熱面積103.14m <sup>2</sup> 、平成20年3月より稼働中。風呂と 栄養管理部洗浄に使用(灯油換算削減量5870ℓ/年 H21年度)
緑のカーテン	平成20年より開始、毎年継続(院内各所)	
断熱化	駐車場の遮熱塗装、本館病室ペアガラス化実施、南館計画中	
加湿システム	平成17年より院内に加湿器を設置、現在の設置台数は130台以上 ・特に病棟・病室においては設定湿度40%で24時間稼働を原則として使用 ・大型温湿度計にて各箇所別の設定値を見える化	
水関係	・透析用に大小給水タンクおよび高架水槽を設置 (計168t、2日分の備蓄に相当) 池の水には、屋上に降雨した雨水も利用	
地震情報装置	「デジタルなまず」の導入	「デジタルなまず」は「何秒後にどのくらいの大きさの地震が来るか」を音声と画面で知らせるもの。全館放送で周知 震度1から設定可能で、当院では震度4で作動するよう設定
	「緊急告知FMラジオ(FMくらしき)」導入	緊急時(倉敷市災害対策本部が設置されたとき) 自動的にラジオの電源が入り放送される 毎月1日の13時に試験放送中、事務部と守衛室に設置
病院車両	病院用: 普通車3台、救急車1台 訪問看護ST・居宅介護支援事業者用: 軽自動車9台 通所サービス部用: 普通車2台、リフト車5台、軽自動車3台	
グループウェア	グループウェアWaWaOffice(アイアットOEC:岡山市)を院内コミュニケーションツールとし、院内メール・回覧・掲示・スケジュール管理・会議室管理・ネットフォルダー等で活用(平成13年5月より)	

旧本館  
昭和45年5月

本館  
平成15年12月



南館  
平成10年10月



新本館増築工事

本計画は、昭和45年に建築され老朽化している旧本館等の機能を全面的に移設することを計画しており「平成22年度岡山県医療施設等施設整備費補助金事業」に採択を頂きました。

3期工事  
H25.7~H25.10

1期工事  
H23.3~H24.5

2期工事  
H24.5~H25.7



1. 計画概要

	現有建物	(うち、取り壊し)
建築延べ面積	17,073.16m <sup>2</sup>	(うち、取り壊し) 7,624.80m <sup>2</sup>
病床数	259	(25)
透析ベッド数	100	(100)

	計画	(うち、新築)
建築延べ面積	16,955.90m <sup>2</sup>	(7,547)
病床数		256
透析ベッド数	137	(137)

2. 事業費内訳

- (1) 建築費 18億円
- \* 単価(税抜き) 21万円/m<sup>2</sup>
- (2) 関連工事費 3億円
- (3) 医療機器費 2億円
- 総事業費 23億円
- (4) 補助金 6億円

3. 工期(予定) 平成23年3月~平成25年10月

地上5階建塔屋2階  
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造  
設計監理:(株)ユー・ディー・ディー設計  
建築施工:藤木工務店



## 病院概要

創和会理念	生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に
病院の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会に信頼されるやさしい病院を目指します</li> <li>・感動する心を大切に、常に問題意識を持って看護します</li> <li>・退院後の自宅療養を含めた一貫した医療を目指します</li> </ul>
当院の特徴	<p>★当院は「腎・透析」と「回復期リハビリ」に重点を置いた、回復期の病院です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔の見える地域連携 〔財〕倉敷中央病院(病床数1116床)と道路を挟んで隣接</li> <li>・S43年県下で最も早く透析開始。県下で患者数2番目に多い施設</li> <li>・H13年県下で2番目に<b>回復期リハビリ病棟</b>を開設</li> <li>・H14年「<b>ローコストオペレーション</b>」</li> <li>・H16年に<b>5病棟の完全機能分化</b></li> <li>・H17年チームマイナス6%に参加 エコホスピタルを目指してCO2削減運動を展開 (電気・水道の無駄を減らす)</li> <li>・H19年「<b>コメディカル部門原価計算</b>」</li> <li>・H20年「<b>働きやすい病院評価</b>」認定 全国で8番目(岡山県初)</li> </ul> <p>* 電子カルテ・オーダーリング未設置 * DPC準備病院</p>
参加の地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷臨床リハビリテーション医学懇話会</li> <li>・倉敷透析連携の会</li> <li>・倉敷リハビリ看護研究会</li> <li>・くらしき脳卒中連携の会</li> <li>・倉敷大腿骨骨折連携の会</li> <li>・倉敷全身と腎を診る会</li> <li>・倉敷NST研究会</li> <li>・倉敷褥瘡皮膚潰瘍研究会</li> <li>・倉敷脳卒中チームケア研究会</li> <li>・倉敷チーム医療研究会</li> <li>・倉敷病院情報システム研究会(KHIS)</li> <li>・岡山県南西部医療安全を考える会</li> <li>・心不全地域連携の会</li> <li>・倉敷コンチネンスケア研究会 他</li> </ul>

沿革	昭和30年 7月	重井内科診療所 開設
	昭和33年 1月	医療法人創和会 届出
	昭和33年 5月	重井病院 開設 60床
	昭和37年11月	倉敷昆虫館 開設
	昭和39年 4月	重井薬用植物園 開設
	昭和43年11月	<b>岡山県初試験的透析 開始</b>
	昭和45年 9月	血液透析センター新築
	昭和51年 5月	増床 280床 に
	昭和53年 4月	<b>重井医学研究所 開設</b>
	昭和54年11月	<b>重井医学研究所附属病院 開設</b>
	平成8年 8月	<b>現理事長 就任</b>
	平成9年 1月	<b>創・I計画 開始</b>
	平成10年 9月	<b>名称あらため「しげい病院」に</b>
	平成10年10月	訪問看護ステーション 開設
	平成10年10月	南館新築 259床(減床 21):療養病床 認可
	平成12年 2月	院内LAN完成
	平成12年 4月	通所リハビリ・通所介護 開設
	平成12月 4月	<b>介護療養型病棟 認可</b>
	平成13年 5月	<b>回復期リハビリテーション病棟 認可</b>
	平成14年 4月	<b>「安全課」(警察OBの採用) 開設</b>
	平成14年 5月	<b>「ローコストオペレーション」 開始</b>
	平成15年 7月	<b>総合リハビリテーション施設 認定</b>
	平成16年 4月	本館増改築 完成 障害者施設等一般病棟 認可
平成17年 8月	<b>「もったいないプロジェクト」活動 開始</b> <b>「倉敷中央病院との看護連携」 開始</b>	
平成19年 5月	<b>「コメディカル部門別原価計算」 開始</b>	
平成19年 8月	<b>「職員メンタルヘルスケア」 EAPシステム導入</b>	
平成20年 1月	<b>「働きやすい病院評価」 認定</b>	
平成20年 4月	<b>介護療養型病棟⇒医療療養型病棟に変更</b>	
平成20年10月	健康増進施設「はあもにい倉敷」 開設	
平成23年 3月	新本館増築工事 開始	
平成23年 8月	亜急性病床(4床) 開設	

名称	医療法人創和会 しげい病院
所在地	〒710-0051 岡山県倉敷市幸町2-30 TEL:086-422-3655 (代) FAX:086-421-1991
開設	昭和33年5月12日
院長	重井 文博
診療科目	内科(循・消・呼・神経・糖尿・腎) 人工透析 放射線科・外科・整形外科・血管外科・リハビリテーション科
専門外来	PD外来・CKD外来・ものわすれ外来 リハビリ外来・小児療育
病床数 (259床)	【本館】 一般病棟 3階 50床 7:1 (うち、亜急性病床 3階 4床) 医療療養型病棟(透析) 2階 56床 入院基本料1 障害者施設等病棟 4階 51床 10:1
	【南館】 回復期リハビリ病棟 3階 48床 入院料1 医療療養型病棟 2階 54床 入院基本料1
透析センター	血液透析:同時透析 100ベッド 月、水、金は夜間透析も 血液透析患者数:約270名(昼190名、夜75名) 腹膜透析患者数:約5名
設備・機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳血管疾患等リハビリテーション料(1)</li> <li>・運動器リハビリテーション料(1)</li> <li>・呼吸器リハビリテーション料(1)</li> <li>・診療録管理体制加算</li> <li>・療養環境加算</li> <li>・栄養管理実施加算</li> <li>・栄養サポートチーム加算</li> <li>・医療安全対策加算</li> <li>・褥瘡患者管理加算</li> <li>・糖尿病合併症管理料</li> <li>・薬剤管理指導料</li> <li>・医療機器安全管理料1</li> <li>・地域連携診療計画退院時指導料1</li> <li>・緊急搬送患者地域連携受入加算</li> <li>・CT撮影およびMRI撮影</li> <li>・透析液水質確保加算</li> </ul>
職員数450名 (H23年7月現在)	常勤医師13名、非常勤医師12名、看護師228名、准看護師9名 介護福祉士27名、薬剤師12名、放射線技士5名、臨床検査技師13名 臨床工学技士14名、理学療法士22名、作業療法士15名、言語聴覚士6名 健康運動指導士2名、管理栄養士・栄養士11名、社会福祉士8名 歯科衛生士1名、事務部員47名(診療録情報管理士8名)、他

各種データ (H22年度実績)	<p>平均入院患者数:243名 外来患者数 :1日平均271名(内、外来透析患者平均143名) 病床稼働率 :94% 平均在院日数 :一般病棟:18.8日 回復期リハ病棟:78.0日</p> <p>救急搬送件数 :9件/月 人件費率 :59% 医業利益率 :5%</p>
併設機関	<p>訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所 通所リハビリテーション、通所介護 倉敷昆虫館(本館8階)(倉敷昆虫同好会事務局) (ひまわり号事務局)</p>  <p>▲倉敷昆虫館</p>
関連施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重井医学研究所附属病院(岡山市南区山田)</li> <li>・重井医学研究所(岡山市南区山田)</li> <li>・岡山しげい訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所(岡山市南区山田)</li> <li>・重井薬用植物園(倉敷市浅原)</li> <li>・健康増進施設「はあもに倉敷」(倉敷市羽島)</li> </ul>  <p>▲重井医学研究所附属病院と重井医学研究所</p>  <p>▲重井薬用植物園</p>  <p>▲はあもに倉敷</p>



▲しげい病院の緑のカーテン